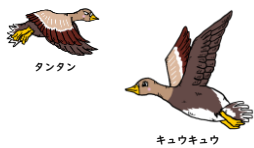
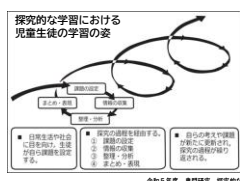
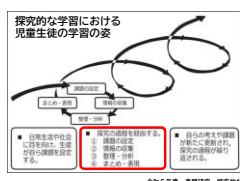



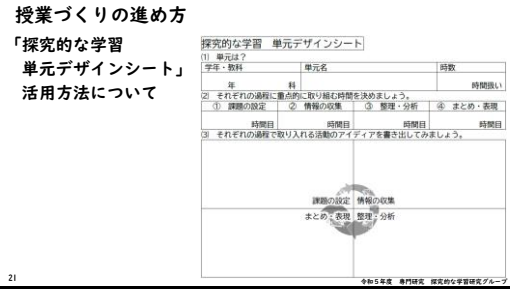
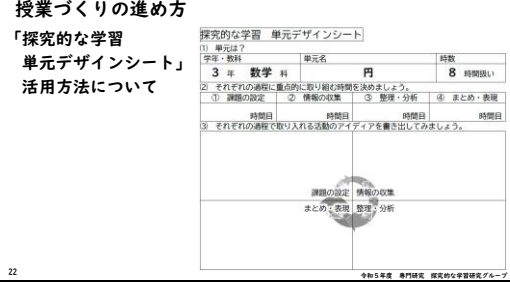
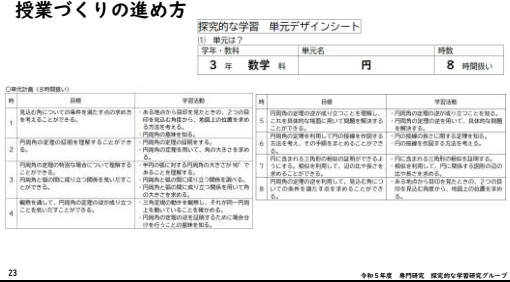
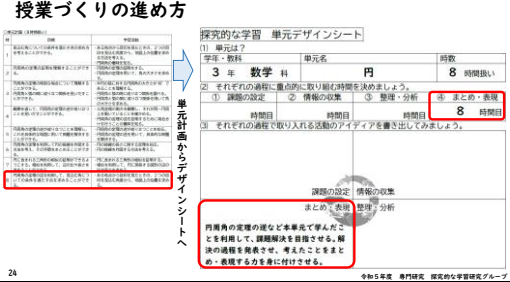
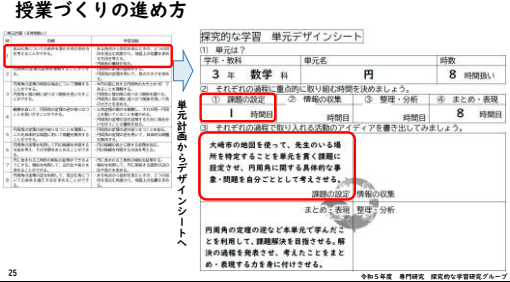


<p>1</p>	<p style="text-align: center;">各教科における探究的な学習 教員研修会</p> <div style="text-align: center;">  <p>タンタン</p> <p>キュウキュウ</p> </div> <p style="text-align: center;">○月×日(△) □□立□□□中学校</p>	<p>これから、各教科における探究的な学習教員研修会を開催させていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>今日お話することは、これまでの授業のやり方を新しくしてくださいというものではありません。先生方が行っている授業には、既に「探究的な学習」に当てはまる部分があります。「全てを新しくする」という意識ではなく、これまで取り組んできたことを、探究的な学習の視点で整理して、捉え直して授業づくりをしてみましよう、ということが今日一番お伝えしたいことになります。</p>
<p>2</p>	<p>研修会のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 探究的な学習についての理解を深める ・ 探究的な学習の視点から各教科での授業づくりを考える 	<p>この研修会のねらいは2つです。1つ目は「探究的な学習についての理解を深めること」、2つ目は「探究的な学習の視点から各教科での授業づくりを考えること」です。</p>
<p>3</p>	<p>研修会の流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 各教科における探究的な学習 2. ワークショップ <ol style="list-style-type: none"> ① 授業づくりの進め方 ② 探究の過程を取り入れた授業づくり 3. コンプリーション まとめ 	<p>本日はこのような流れで進めていきます。</p>
<p>4</p>	<p>研修会の流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 各教科における探究的な学習 2. ワークショップ <ol style="list-style-type: none"> ① 授業づくりの進め方 ② 探究の過程を取り入れた授業づくり 3. コンプリーション まとめ 	<p>まず、探究的な学習についてです。</p>
<p>5</p>	<p>各教科における探究的な学習</p> <p style="text-align: center;">なぜ、 探究的な学習を 教科で？</p>	<p>なぜ、総合的な学習の時間で述べられてきた探究的な学習を、教科で行うのでしょうか。</p>

<p>6</p> <p>各教科における探究的な学習 学習指導要領改訂の考え方 「平成29・30・31年改訂学習指導要領（本文、解説） 学習指導要領改訂の考え方」（文部科学省）</p>	<p>平成29・30・31年改訂の学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が求められています。</p>
<p>7</p> <p>各教科における探究的な学習 学習指導要領の趣旨の実現に向けた個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に関する参考資料 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実（イメージ） 文部科学省 令和3年3月</p>	<p>そして、「学習指導要領の趣旨の実現に向けた個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に関する参考資料」では、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実が主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善につながることや、「個別最適な学び・協働的な学び」と「探究的な学習」の関係について示されています。</p>
<p>8</p> <p>各教科における探究的な学習 学習指導要領の趣旨の実現に向けた個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に関する参考資料 探究において課題の設定、情報の収集・整理・分析、まとめ・表現を行う等、教師が子供一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供 探究的な学習や体験活動などを通じ、多様な他者と協働しながら、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、様々な社会的な変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となることができるよう、必要な資質・能力を育成 協働的な学び</p>	<p>まず、個別最適な学びについて、探究において課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現を行う等、教師が子供一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することで、子供自身が学習が最適となるよう調整する「学習の個性化」が必要であることが述べられています。</p>
<p>9</p> <p>各教科における探究的な学習 学習指導要領の趣旨の実現に向けた個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に関する参考資料 探究において課題の設定、情報の収集・整理・分析、まとめ・表現を行う等、教師が子供一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供 探究的な学習や体験活動などを通じ、多様な他者と協働しながら、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、様々な社会的な変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となることができるよう、必要な資質・能力を育成 協働的な学び</p>	<p>また、探究的な学習や体験活動などを通じ、多様な他者と協働しながら、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、様々な社会的な変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となることができるよう、必要な資質・能力を育成する「協働的な学び」を充実することも重要であると述べられています。</p>
<p>10</p> <p>各教科における探究的な学習 探究的な学習 学習指導要領解説 総合的な学習の時間編 ▶物事の本質を探ってみ極めようとする学習 ▶問題解決的な活動が発展的に繰り返される</p>	<p>ここで、探究的な学習について確認します。学習指導要領解説総合的な学習の時間編において、探究的な学習とは、物事の本質を探ってみ極めようとする学習のことであり、問題解決的な活動が発展的に繰り返されていく一連の学習活動のことである、と述べられています。</p>

<p>11</p>	<p>各教科における探究的な学習 探究的な学習 ▶物事の本質を探ってみ極めようとする学習 ▶問題解決的な活動が発展的に繰り返される</p>  <p>学習指導要領解説 総合的な学習の時間編</p>	<p>そして「探究的な学習における児童生徒の学習の姿」として図のような一連の学習過程が示され、その中で</p>
<p>12</p>	<p>各教科における探究的な学習 探究的な学習 ▶物事の本質を探ってみ極めようとする学習 ▶問題解決的な活動が発展的に繰り返される</p> <p><探究の過程> ① 課題の設定 ② 情報の収集 ③ 整理・分析 ④ まとめ・表現</p>  <p>学習指導要領解説 総合的な学習の時間編</p>	<p>①課題の設定、②情報の収集、③整理・分析、④まとめ・表現の4つの探究の過程を経由すると述べられています。 各教科の学習過程にも探究の過程を取り入れることで、授業改善につながると考えられます。</p>
<p>13</p>	<p>各教科における探究的な学習 【各教科における探究の過程】</p> <p>①課題の設定 単元を貫く課題を設定し、課題意識を持つ</p> <p>②情報の収集 必要な情報を取り出したり収集したりする</p> <p>③整理・分析 収集した情報を、整理したり分析したりして思考する</p> <p>④まとめ・表現 気づきや発見、自分の考えなどをまとめ、判断し、表現する</p>  <p>タンキョウシタイ</p> <p>学習指導要領解説 総合的な学習の時間編</p>	<p>そのために、各教科における探究の過程を、このように捉えます。 ①課題の設定は、単元を貫く課題を設定し、課題意識を持つこと、 ②情報の収集は、必要な情報を取り出したり収集したりすること、 ③整理・分析は、収集した情報を、整理したり分析したりして思考すること、 ④まとめ・表現は、気づきや発見、自分の考えなどをまとめ、判断し、表現すること、です。</p>
<p>14</p>	<p>各教科における探究的な学習 【各教科における探究の過程】</p> <p>①課題の設定 単元を貫く課題を設定し、課題意識を持つ ・単元や節を貫く課題を設定させたい ・体験から疑問や関心を引き出したい ・単元の計画や内容を考えさせたい</p> <p>②情報の収集 必要な情報を取り出したり収集したりする ・情報の集め方を考えさせたい ・知識・技能を身に付けさせたい ・課題解決に必要な情報を集めさせたい</p> <p>③整理・分析 収集した情報を、整理したり分析したりして思考する ・情報を整理させたい ・情報を分析させたい ・考えを出し合わせたい</p> <p>④まとめ・表現 気づきや発見、自分の考えなどをまとめ、判断し、表現する ・相手意識を持った表現活動させたい ・発表の方法を考えさせたい ・次の課題を見付けさせたい</p>  <p>学習指導要領解説 総合的な学習の時間編</p>	<p>探究の過程①～④を授業に取り入れるため、各過程3つずつのポイントに整理したものがこちらです。</p>
<p>15</p>	<p>各教科における探究的な学習 【各教科における探究の過程】</p> <p>①課題の設定 単元を貫く課題を設定し、課題意識を持つ ・単元や節を貫く課題を設定させたい ・体験から疑問や関心を引き出したい ・単元の計画や内容を考えさせたい</p> <p>②情報の収集 必要な情報を取り出したり収集したりする ・情報の集め方を考えさせたい ・知識・技能を身に付けさせたい ・課題解決に必要な情報を集めさせたい</p> <p>③整理・分析 収集した情報を、整理したり分析したりして思考する ・情報を整理させたい ・情報を分析させたい ・考えを出し合わせたい</p> <p>④まとめ・表現 気づきや発見、自分の考えなどをまとめ、判断し、表現する ・相手意識を持った表現活動させたい ・発表の方法を考えさせたい ・次の課題を見付けさせたい</p>  <p>学習指導要領解説 総合的な学習の時間編</p>	<p>①課題の設定のポイントは、「単元や節を貫く課題を設定させたい」「体験から疑問や関心を引き出したい」「単元の計画や内容を考えさせたい」</p>

<p>16</p>	<p>各教科における探究的な学習 【各教科における探究の過程】</p>	<p>②情報の収集のポイントは、「情報の集め方を考えさせたい」「知識・技能を身に付けさせたい」「課題解決に必要な情報を集めさせたい」</p>
<p>17</p>	<p>各教科における探究的な学習 【各教科における探究の過程】</p>	<p>③整理・分析のポイントは、「情報を整理させたい」「情報を分析させたい」「考えを出し合わせたい」</p>
<p>18</p>	<p>各教科における探究的な学習 【各教科における探究の過程】</p>	<p>④まとめ・表現のポイントは、「相手意識を持った表現活動をさせたい」「発表の方法を考えさせたい」「次の課題を見付けさせたい」です。</p>
<p>19</p>	<p>各教科における探究的な学習 【各教科における探究の過程】</p>	<p>ここで、「情報」とは、課題解決に必要な知識・技能を含め、判断や意志決定、行動を左右する全ての事柄を指します。この「各教科における探究の過程」を授業づくりに生かしましょう。</p>
<p>20</p>	<p>研修会の流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 各教科における探究的な学習 2. ワークショップ <ol style="list-style-type: none"> ① 授業づくりの進め方 ② 探究の過程を取り入れた授業づくり 3. コンプリーション まとめ 	<p>それでは、授業づくりの進め方について説明します。</p>

<p>21</p>	<p>授業づくりの進め方 「探究的な学習 単元デザインシート」 活用方法について</p> 	<p>お手元の「探究的な学習単元デザインシート」をご覧ください。「各教科における探究の過程」を活用し、このシートにアイデアを書き込みながら、探究の過程を取り入れた授業づくりを行います。</p> <p>デザインシートの(1)には、探究の過程を取り入れる単元を書きます。(2)には、探究の過程を取り入れる時間を、(3)には、アイデアを書き出して整理していきます。</p>
<p>22</p>	<p>授業づくりの進め方 「探究的な学習 単元デザインシート」 活用方法について</p> 	<p>ここからは、作成手順の一例を参考として示します。まず、単元を決めます。今回は中学校3年生の数学科の円の単元を例として説明します。</p>
<p>23</p>	<p>授業づくりの進め方 「探究的な学習 単元デザインシート」</p> 	<p>こちらが単元計画です。円に関する性質について学び、その性質を活用して作図したり、相似の証明をしたりする単元です。</p>
<p>24</p>	<p>授業づくりの進め方 「探究的な学習 単元デザインシート」</p> 	<p>単元計画を確認しながら、「まとめ・表現」で、この単元で学んだことを活用して、課題解決を目指させ、解決の過程を発表させたいと考えました。</p>
<p>25</p>	<p>授業づくりの進め方 「探究的な学習 単元デザインシート」</p> 	<p>そして、「課題の設定」についてのアイデアを考えました。大崎市の地図を使った、円周角に関する具体的な問題を提示することで、円周角の問題を自分ごととして捉えさせ、円の単元を学ぶ前には解けなかった問題が、円の単元で学んだことを活用すると解けるようになる、ということを生徒が実感できるように、「まとめ・表現」と関連付けながら考えました。</p>

26

授業づくりの進め方

探究的な学習 単元デザインシート

① 単元は？
 学年・教科 単元名 円 回数 8 時間扱い

② それぞれの過程に重点的に取り入れる活動を決定しましょう。

③ それぞれの過程で取り入れる活動のアイデアを書き出しましょう。

大崎市の地図を使って、高さのある場所を特定することを単元で扱う課題に設定させ、円周角に関する具体的な事象・問題を自分ごととして考えさせる。

円周角の定理の逆など単元で学んだことを活用して、課題解決を目指す。解決の過程を特化させ、考えたとまとめる。教師する方を身に付けさせる。

円周角の定理を証明し、設定した課題の解決に必要な知識として身に付けさせる。

④ 情報の収集 整理・分析 ⑤ まとめ・表現

※情報-課題解決に必要な知識・技能を含め、判断や意志決定、行動を左右する全ての事柄

「情報の収集」では、円周角の定理を証明することを、課題解決に必要な知識として身に付けさせ、

「整理・分析」では、身に付けた知識を活用して、円周角の定理の逆が成り立つことを考えたり、論理的に確かめたりして、円に関する知識について整理させます。

このように考えながら、4つの過程を単元のどこに入れていくかを考えました。この例では、「まとめ・表現」から考え始めましたが、それぞれ取り組みやすい過程から、自由に作成していただいても構いません。

27

授業づくりの進め方

探究的な学習 単元デザインシート

① 単元は？
 学年・教科 単元名 Unit 7 Foreign Arts in Japan 回数 8 時間扱い

② それぞれの過程に重点的に取り入れる活動を決定しましょう。

③ それぞれの過程で取り入れる活動のアイデアを書き出しましょう。

日本の伝統芸術や伝統工芸を仕事にしている外国人について、「知りたいこと」や「疑問」について情報を集めさせる。
 ・「知りたいこと」や「疑問」について情報を集めさせる。
 ・紹介したい人物について、必要な情報を集めさせる。

※情報-課題解決に必要な知識・技能を含め、判断や意志決定、行動を左右する全ての事柄

こちらは中学校1年生の外国語の例です。日本の伝統文化やそこに携わる外国人について理解し、日本の伝統文化を仕事にしている外国人を紹介する単元です。ALTに伝える内容を考えることを課題の設定で行います。課題解決に必要な情報を収集し、集めた情報を整理しながら紹介文を構成して、相手に分かりやすく伝えるという例になります。今回の、数学科の例における「情報」は、「知識・技能の習得」、外国語科の例における「情報」は、「課題解決に必要な情報」を指しています。このように、「情報」とは、課題解決に必要な知識・技能も含んでいることをここで確認しておきます。また、取り入れる時間については、複数ある場合や順番が行き来する場合もありますので、柔軟に記入いただいても構いません。

28

授業づくりの進め方

探究の過程と各教科の学習過程の対応 (中学校の例)
 ※学習指導要領解説を基に作成

各教科の学習過程と探究の過程の対応表

こちらは、「探究の過程と各教科の学習過程の対応」です。各教科の学習指導要領解説を参考にまとめられています。上段が各教科の学習過程で、下段が取り入れた場面の例です。お手元のA3用紙「探究の過程と各教科の学習過程の対応」で確認できます。単元デザインシートを作成する際に参考にしてください。



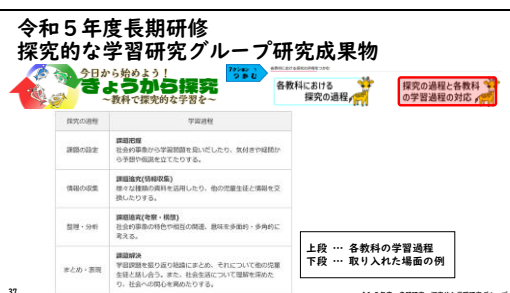
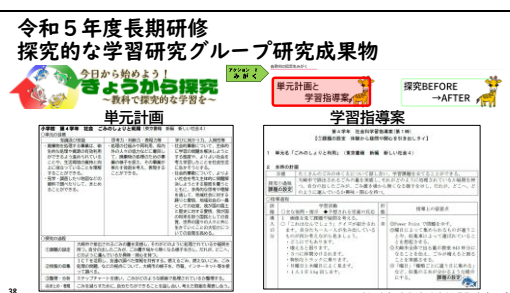
29

研修会の流れ

- オリエンテーション
 各教科における探究的な学習
- ワークショップ
 - ① 授業づくりの進め方
 - ② 探究の過程を取り入れた授業づくり
- コンプリーション
 まとめ

それでは実際に授業づくりに取り組んでみましょう。

<p>30</p>	<p>探究の過程を取り入れた授業づくり</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center; background-color: #f9cb9c;">デザインシートを活用したワークショップ</p> <p>(1) 探究の過程を取り入れる単元を決める。 (2) どの時間に探究の過程を取り入れるか決める。それぞれの過程について、アイデアを考える。 (3) 工夫したポイントを共有する。</p> </div> <p style="font-size: small; text-align: right;">30 令和5年度 専門研修 探究的な学習研究グループ</p>	<p>単元計画を確認しながら、単元デザインシートを作成してみてください。まず、個人で取り組んでいただきますが、近くの先生と相談しながら進めても構いません。そして〇分後を目安に、グループ内で考えを共有していただきます。その後、各グループの代表の方に発表していただきたいと考えています。もし、早く終わった先生がいらっしゃれば、他の単元でもデザインシートを作成してみてください。それでは始めてください。</p> <p>(記入後) それでは、近くの先生方でペアになっていただき、探究の過程を取り入れるアイデアを話してみてください。</p> <p>(その後) それでは、何人かに全体でお話いただきたいと思えます。</p>
<p>31</p>	<p>研修会の流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 各教科における探究的な学習 2. ワークショップ <ol style="list-style-type: none"> ① 授業づくりの進め方 ② 探究の過程を取り入れた授業づくり 3. コンプリーション まとめ <p style="font-size: small; text-align: right;">31 令和5年度 専門研修 探究的な学習研究グループ</p>	<p>まとめです。</p>
<p>32</p>	<p>まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ これまでの授業のやり方を一新するものではない ▶ 各教科の今までの授業には既に「探究の過程」に該当する学習過程がある ▶ 「探究の過程」を意識して授業を展開することが大切 <p style="font-size: small; text-align: right;">32 令和5年度 専門研修 探究的な学習研究グループ</p>	<p>探究的な学習を行うことは、これまでの授業のやり方を一新するものではありません。日々先生方が行っている授業には、既に「探究の過程」に当てはまる学習過程があります。その「探究の過程」を意識して授業を展開することが大切です。</p>
<p>33</p>	<p>まとめ</p> <p>「探究の過程を取り入れた各教科での授業づくり」 <small>によって期待されること</small></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 児童生徒に対して、一貫した問題解決の過程を伝えることができる ▶ 教員同士が教科や学年を越えて授業づくりの視点やアイデアを共有できる ▶ 探究的な学習を確認するきっかけになる <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>これまで取り組んできたことを、 探究の過程の視点で整理していませんか？</p> </div> <p style="font-size: small; text-align: right;">33 令和5年度 専門研修 探究的な学習研究グループ</p>	<p>探究の過程を取り入れた各教科での授業づくりをすることで、</p> <p>「児童生徒に対して、一貫した問題解決の過程を伝えることができること」、</p> <p>「教員同士が教科や学年を越えて授業づくりの視点やアイデアを共有できること」、</p> <p>「探究的な学習を確認するきっかけになること」</p> <p>が期待されます。</p> <p>「全てを新しくする」という意識ではなく、これまで取り組んできたことを、探究の過程の視点で整理して、捉え直して授業づくりを試みましょう。</p>

<p>34</p>	<p>研修会のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 探究的な学習についての理解を深める ・ 探究的な学習の視点から各教科での授業づくりを考える 	<p>研修会のねらいはこの2つでした。この研修会が探究的な学習の視点からの授業改善の参考となれば幸いです。</p>
<p>35</p>		<p>こちらは、令和5年度長期研修探究的な学習研究グループの研究成果物、探究的な学習サポートパック「きょうから探究」のホームページのトップページです。一部を紹介します。</p>
<p>36</p>		<p>「つかむ」の「各教科における探究の過程」では、「①～④の探究の過程の捉え」と、それぞれの過程を取り入れるポイントとして具体例を3つずつを、図で確認することができます。</p>
<p>37</p>		<p>「探究の過程と各教科の学習過程の対応」では、授業に探究の過程を取り入れる際の参考となるような学習過程の例を、教科ごとの表にまとめています。</p>
<p>38</p>		<p>「みがく」の「単元計画と学習指導案」では、探究の過程を取り入れた具体例を示しています。総合的な学習の時間が始まる学年に合わせて、小学校3年生から中学校3年生までを対象としています。</p>

<p>39</p>	<p>令和5年度長期研修 探究的な学習研究グループ研究成果物 今日から始めよう！ きょうから探究 ～教科で探究的な学習を～ 探究BEFORE→AFTER</p>	<p>「探究BEFORE→AFTER」では、探究の過程を取り入れる際のポイントや工夫、取り入れる前と後の指導過程を示しています。これまでの取組を生かせることや、少しの工夫をすることで探究の過程を取り入れた授業づくりができることが伝わるように作成しています。</p>
<p>40</p>	<p>令和5年度長期研修 探究的な学習研究グループ研究成果物 今日から始めよう！ きょうから探究 ～教科で探究的な学習を～</p>	<p>「はしる」の「授業実践」では、探究的な学習研究グループ研修員が所属校において実践した授業を紹介します。探究の過程を取り入れた授業の具体的なイメージにつながるよう、単元計画や学習指導案、ワークシート、授業の様子などを示しています。</p>
<p>41</p>	<p>令和5年度長期研修 探究的な学習研究グループ研究成果物 今日から始めよう！ きょうから探究 ～教科で探究的な学習を～</p>	<p>「教員研修会」では、実践した研修会の内容や進め方を紹介しています。や単元デザインシート、研修会の様子などが確認できます。ぜひご覧ください。</p>
<p>42</p>	<p>令和4年度長期研修 探究的な学習研究グループ研究成果物</p>	<p>総合的な学習の時間に関しては、令和4年度長期研修の研究成果物を参考にご覧ください。</p>
<p>43</p>	<p>各教科における 探究的な学習 教員研修会</p>	<p>こちらは、研修会の中で活用した資料のリンク集です。以上で、本日の研修会を終わります。お忙しい中、ご参加いただき、ありがとうございました。</p>